

『生徒が公開するWebコンテンツの作成技法と著作権処理』

学校インターネット教育推進協会 事務局長 金子 洋子

sec@japias.jp

キーワード：Webコンテンツ制作、著作権教育

1. はじめに

学校インターネット教育推進協会（前身の委員会組織も含め）は、10年前からThinkQuest@JAPAN(シンククエスト・アット・ジャパン)というWebコンテストを行っている。これは、中学生・高校生に、Web教材を開発させるコンテストであり、毎年全国から1000人以上の生徒が参加している。また、その審査においては、教師をはじめとする教育関係者約100人、最終審査においては、教育分野やメディア分野を代表する審査員12名が参加し、参加者とコミュニケーションをとりながら、作品を改良させ、最終審査を行っている。

上記の事業を推進してきた経験から、Web制作の技法や学校外部の機関との適切なコミュニケーションが求められる著作権処理の分野について、Webの制作現場にいる専門家が、学校の先生の授業を補うという立場で出前授業を行うことは生徒にとっても先生にとっても意義があるのではないかと判断し、本事業に応募した。

2. 授業の概要

(1) テーマ

『生徒が公開するWebコンテンツの作成技法と著作権処理』に関する授業

(2) 授業のねらい

学校で生徒がWebコンテンツを制作するにあたり、Web制作にかかわる基本的な技法と著作権およびそれに関連して守らなければならないルールについて学ぶ。

(3) 実施校

- ・京都府立京都すばる高校 2年3組 38名 ・2年4組 39名

教科名：企画科 メディアデザイン 単元名：Web制作基礎 制作入門

平成20年9月14日（金）2時限目（9：50～10：55）、3時限目（11：05～12：10）実施

- ・東京都立板橋有徳高校 1年3組 39名

教科名：情報A 単元名：第4編 情報の収集と発信 第2章Webと情報の収集・発信 情報発信時の注意点

平成19年11月20日（火）3・4時限（10：50～12：40）実施



写真1 京都すばる高校での授業風景



写真2 板橋有徳高校での授業風景

3. 授業実践事例

3.1 京都府立京都すばる高校での授業内容

京都すばる高校はThinkQuest@JAPANの参加校である。9月から授業でコンテストに応募するためのWeb教材を制作するため、その導入授業として「Webサイト制作の流れ ～テーマ決定からサイト公開まで～」というテーマの授業を行った。

(1) 指導目標

次の内容を今回の指導目標とした。

- ・Web制作の情報発信にあたって理解を深め、今後の制作過程における関心・意欲をもたせる。
- ・ユーザービリティ・アクセシビリティについて理解する。
- ・Web制作にあたって押さえるべきポイントの概要をとらえる。
- ・Webコンテンツの著作権と著作権処理についての理解を深める。

(2) 講義内容

Webコンテンツを制作するにあたり押さえるべきポイントについて、次の内容を解説した。

- ・テーマを考える
- ・制作スケジュールを考える

